

## 三重県水産業及び漁村の振興に関する条例に基づく基本計画(中間案)に対する意見公募手続(パブリックコメント)の意見及び回答について

1 意見公募期間 令和2年4月10日から同年5月11日まで

2 意見公募総数 11件

3 意見の概要及び意見に対する回答

番号	該当項目	中間案に対するご意見	意見に対する回答
1	全般	国民の皆さんにとって第一次産業は重要な産業である。人間は食べ物がなくては、生きていけない。その食べ物を外国に依存している事を知ってほしい。	水産業をはじめとする第一次産業は、国民への食糧の安定供給など重要な役割を担っていることから、水産業の健全な発展に資するよう各施策の総合的かつ計画的な推進に努めていきます。
2	2頁,第2	IUU漁業については、日本語訳、もしくは追加説明を追記すること。	ご指摘の箇所についてご意見のとおり、「IUU漁業(違法・無報告・無規制漁業)」と記載を変更します。
3	3頁	タンパク質の一人当たりの年間消費量が減少しているのは高齢化の進行やダイエット志向によるものである、とは位置づけられるものではない。高齢化の進行によるものならば、東紀州の港町のような激甚高齢化の漁村においては、北中勢以上に著しい減少幅があるはずだ。漁村にそんな激甚減少がありうるのか。また、川越町や朝日町においてのみ三重県内でタンパク質の消費量が多いということが、データ上で見て取れるのか。そんなことが果たして有り得ているのか。また、ダイエット志向によるものならば、健康に良いはずの魚介の消費量が減るとするのは矛盾している。魚離れの原因は何かというと、個食化・孤食化と格差化・非正規化によるものだ。個食化・孤食化は、日持ちの短いタンパク質より、日持ちの長い炭水化物への過度の依存をもたらした。また、格差化・非正規化は、労働者への減私を強いるから、過労死寸前だと単身世帯が自炊の手間を省くようになり、魚離れが進んだ。さらには、女性活躍の風潮に合わせ、専業主婦率も減ったので、骨や皮を家庭菜園の堆肥にする手間が惜しまれている。このように、個食化・孤食化、格差化・非正規化、女性活躍といった理由によるのだから、記述を見直してほしい。	ご指摘のとおり、「高齢化の進行やダイエット志向」のみが要因ではないとの認識から、ご指摘の箇所については、「高齢化の進行やダイエット志向」を削除します。
4	15頁,2)	消費者世帯の出せる購入金額には限度があって、同程度の金額は出せるものの、高騰に伴って消費量が減ったというのが、実状である。購買意欲の減少ではないというように楽観するのではなく、格差化・貧困化に伴い消費量を維持しようにも維持できず、消費額しか維持できなくなっているのだと捉えるべきである。	県では農林水産物の消費拡大や食育を通じて、健康で文化的な生活と豊かで活力ある社会の実現を図っていますが、令和元年度に実施した第8回みえ県民意識調査において「三重県産の農林水産物を買いたい」との問いに対して、「感じる」、「どちらかといえば感じる」の割合が全体で85.5%となっており、県民の潜在的な購買意欲について、引き続き維持・増進できるよう各施策に取り組んでいきます。
5	20頁,第3, 2(2)	「多様で意欲のある若者が」という表現について、県外からの移住者の主たる層である30歳から60歳を排除してしまうことになることから、「若者」という言葉を使用をすべきではない。	当基本計画の実行にあたっては、若者を含めた多様な主体を対象としていることから、ご指摘のとおり、「若者」との記載箇所については、「多様で意欲ある担い手」と変更記載します。

6	25頁, 1 - 2 - 1	<p>「若者にとって魅力的な働く場」となる必要は無い。30歳から59歳の女性にとっても、60歳からの高齢者にとっても、誰しもに魅力的な場でなければならないというのに、ここで若者という言葉を持ち出してはならない。「若者等の雇用」という若者等という言葉も不要である。</p>	<p>当基本計画の実行にあたっては、若者を含めた多様な主体を対象としていることから、ご指摘のとおり、「若者」との記載箇所については、「多様な担い手」と変更記載します。また、「若者等の雇用」との記載箇所については、「多様な担い手の雇用」と変更記載します。</p>
7	28頁, 1 - 2 - 4	<p>インバウンド向け真珠体験ツアーや太平洋・島サミットが2022年に出来るとでも思ったのか。コロナウイルスの終息を前提としているが、終息しなかった場合の対策を併記もせずに、開催できると楽観する根拠がどこにあった。三重県内の終息は、海外の終息と同時では無い。また、日本に対しての蔓延イメージの回復は一年で済まない。東京・愛知・大阪の空港を経由するインバウンドを誘客できるのか。この惨状で太平洋・島サミットができるとでも言うのか。県境間の移動を自粛解除できる見込みがどこにあったのか。</p>	<p>新型コロナウイルスについては、ご意見のとおり現段階において終息時期が見通せないことから、国の判断等も踏まえたうえで、状況に応じて適宜対応を検討していきます。</p>
8	34頁, 1 - 4 - 2	<p>魚介類摂取量が、40歳代以下の世代で、特に顕著に少なくなっているのは、格差化、貧困化、未婚化などの理由によるものだ。単身世帯の激増と自炊習慣の激減によるものだから調理方法でどうにかする次元には最早無い。単身世帯に自炊をさせようにも、ブラック労働の廃絶が出来てからの話だ。官製非正規問題などのブラック労働を三重県が生み出しておいて、現状認識が甘すぎる。三重県が存在そのものが官製ブラックであることを本当にわかっているのか。</p>	<p>近年の、特に40歳代以下の世代における魚介類の摂取量の減少について、生活様式の多様化や家庭での魚食機会の減少等様々な社会的要因によるものと認識していることから、学校や家庭など様々な場面を通じて魚食普及を促進していきます。</p>
9	39頁, 2 - 6	<p>太平洋・島サミットに向けて、海女体験を発信しようにも配偶者プログラムに組めるような状況になるとは思わない。実際にコロナウイルスに罹患するか否かは別として、日本はもう感染リスク国家となってしまった。懸念を払底できないのだから、もう過度の期待をするべきでは無い。</p>	<p>新型コロナウイルスについては、ご意見のとおり現段階において終息時期が見通せないことから、国の判断等も踏まえたうえで、状況に応じて適宜対応を検討していきます。</p>
10	42頁, 2 - 9	<p>カキ主要生産県は、数が限られているのだから、「広島県、宮城県等」と等扱いするのではなく、広島県と宮城県以外のカキ主要生産県とも積極的に交流し、協創していくことが重要である。</p>	<p>ご意見のとおり、広島県や宮城県だけではなく他のカキ主要生産県との積極的な交流が必要であることから、ご指摘のとおり、文中の表現については「広島県、宮城県等」を削除します。</p>
11	43頁, 2 - 10	<p>このコロナウイルスの状況においては、県外からのツアーを計画するべきではない。県内でのツアーへとシフトせよ。桑名市や伊賀市からのツアーであるならば、県境を跨がないから認められるが、国内外など認められるものではない。</p>	<p>新型コロナウイルスについては、ご意見のとおり現段階において終息時期が見通せないことから、国の判断等も踏まえたうえで、状況に応じて適宜対応を検討していきます。</p>